

交 通

1	沿	革	363		
2	軌	道	事	業	364
3	經	營	狀	況	366
4	職	員	數	367	
5	施	設	367		

1 沿革

熊本市の交通事業は、市電が大正13年8月1日、市バスが昭和2年11月23日から営業を開始し、以来、熊本市勢の発展とともに市内の主要交通機関として年々路線を拡大してきた。

しかし、昭和30年代の後半になると、社会経済情勢の変化やモータリゼーションの進展等によって利用者が急激に減少し、経営は悪化の一途をたどり、ワンマン化等の効率化を積極的に進めたものの抜本的改革には至らず、特に市電は4つの路線を廃止せざるを得なくなった。

昭和48年度から昭和62年度までの15年間は、国の財政再建団体の指定を受け、国及び一般会計からの援助を受けつつ経営基盤の確立を図った。この間、2度にわたるオイルショックにより省エネルギーの機運が高まり、市電は無公害・省エネルギーの交通機関として見直され、車両冷房化等のサービス向上策を併せて講じることにより、一時落ち込んだ乗客も回復基調に転じた。またバスについても、車両の冷房化や路線再編成等の乗客サービスの向上に努めた。

昭和63年度からは自主再建へと踏み出したが、交通事業を取りまく環境は厳しく、将来にわたり安定した経営を図るため、利用者のニーズに合ったダイヤ編成や増便をはじめ、電停改良等諸施設の改善、日本で初めて超低床車両を導入するなど、乗客誘致策に取り組んだ。

また、平成14年度には、開業以来70有余年使用してきた大江の車両整備工場を上熊本に移転し、平成19年度には大江局舎を新たに建て替えるなど、施設面での基盤整備を図った。

さらには、熊本市圏のバス網再編の一環として、民間事業者と競合していたバス路線について、平成16年から順次民間事業者へ移譲を始めた。

しかし、社会情勢の変化等により経営は年々悪化し、平成20年度末の資金不足額が55億円、資金不足比率198%に達する状況となった。

このようなことから、平成21年度に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「経営健全化計画」を策定し、7ヵ年計画の中で、バス事業の民間移譲（平成27年4月に全ての路線移譲を完了し、バス事業を廃止）、定員管理計画の推進、給与水準の見直し、資産の有効活用、利用促進事業の推進（JR熊本駅・新水前寺駅との結節強化や全国相互利用交通系ICカード（でんでんニモカ）の導入等）を行うなど、経営の健全化に集中的に取り組んだ結果、資金不足を解消し、経営健全化団体から脱却することができた。

その後の計画として平成28年3月に、平成28年度から平成31年度までの経営基本方針を示す中期経営収支プランを策定し、安全で快適な運行体制を確立することはもとより、更なる経営の合理化や経営基盤の強化に取り組みながら、人や環境にやさしい身近な公共交通機関として、市民や観光客に愛される市電を目指し努力を重ねているところである。

2 軌道事業（大正13年8月1日事業開始）（総務課・運行管理課）

(1) 輸送状況

事項		年度				
		26	27	28	29	30
年間輸送人員(人)		10,876,776	11,030,949	10,709,117	11,093,946	11,080,156
年間走行キロ(km)		1,729,611.8	1,731,107.4	1,820,151.6	1,780,149.0	1,771,180.8
年間延使用車両(両)		13,998	14,220	13,777	14,158	13,991
利用率(%)		4.0	4.1	4.0	4.1	4.1
乗車料収入(円)		1,303,314,856	1,406,082,994	1,546,954,715	1,595,378,217	1,595,054,809
一日平均	輸送人員(人)	29,799	30,139	29,340	30,394.4	30,356.6
	走行キロ(km)	4,738.7	4,729.8	4,986.7	4,877.1	4,852.6
	延使用車両(両)	38.4	38.9	37.7	38.8	38.3
	乗車料収入(円)	3,570,725.6	3,841,756.8	4,238,232.1	4,370,899.2	4,370,013.2
一平日一車均	輸送人員(人)	777.0	775.7	777.3	783.6	791.9
	走行キロ(km)	123.6	121.7	132.1	125.7	126.6
	乗車料収入(円)	93,107.2	98,880.7	112,285.3	112,683.9	114,005.8
表定速度(km/h)		12.0	12.0	11.5	11.5	11.5
在車両籍数	ボギー車(ワンマン)	36	36	36	36	36
	連接車	9	9	9	9	9

(注) 乗車料収入は消費税相当分を除いて算出

(2) 営業路線

年度	項目	路線延長(km)	単線延長(km)	複線延長(km)	営業路線延長(km)	運転系統(系統)	停留所数(カ所)	停留所間距離(km)		
								最長	最短	平均
平成30年度		11.941	0.127	11.814	12.092	2	35	0.591	0.126	0.356

(3) 系統別運輸成績

(平成30年度)

系統	区間	走行キロ(km)	乗車人員(千人)	収入(千円)	費用(千円)	差引(千円)	キロ当たり収支			乗車効率(%)
							収入(円)	費用(円)	差引(円)	
A系統	健軍町～田崎橋(9.2km)	1,111,882.1	7,335	1,502,116	1,235,474	266,642	1,351.0	1,111.2	239.8	36.7
B系統	健軍町～上熊本駅前(9.4km)	659,298.7	3,745	766,941	732,583	34,358	1,163.3	1,111.2	52.1	31.9
計		1,771,180.8	11,080	2,269,057	1,968,057	301,000	1,281.1	1,111.2	169.9	34.9

(注) 乗客1人当たり料金収入 定期外147円95銭 定期125円94銭 全体143円81銭

(4) 電車運行要領

(平成31年(2019年)4月1日現在)

系統	項目	運行区間	営業時間	運転方法	時刻表示
A系統		熊本駅前～健軍町(8.7km)	5:50 - 0:25	ダイヤ運転	終日時刻表示
		田崎橋～健軍町(9.2km)			
B系統		上熊本駅前～健軍町(9.4km)	5:50 - 23:35	ダイヤ運転	終日時刻表示

(5) 運賃(平成28年2月1日改定 平成31年(2019年)4月1日現在)

ア 普通旅客運賃及び割引運賃(均一運賃制)

種別	運賃	摘要
普通運賃	大人 170円	中学生以上
	小児 90円	
割引運賃	大人 90円	身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護人、児童福祉法の規定による諸施設により養護若しくは保護を受けている者及びその付添人、療育手帳の交付を受けている者及びその介護人、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者は各々普通運賃の50%割引 熊本県内に住所を有する65歳以上の者で、道路交通法第104条の4第2項の規定により公安委員会の運転免許を取り消された者に対して発行した免許返納者割引乗車証を有する者は普通運賃の50%割引
	小児 50円	

イ 団体旅客運賃

種別	運賃	摘 要
普通団体運賃 (中学生以上)	153円 (大人運賃の1割引)	30人以上の団体で同時に一定の停留場で乗降する場合
小児団体運賃 (小学生以下)	81円 (小児運賃の1割引)	普通団体運賃の適用を受ける団体で、小学生以下の小児
割引団体運賃 (障がい者等)	81円 (大人割引運賃の1割引)	普通団体運賃の適用を受ける団体で、身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護人、児童福祉法の規定による諸施設により養護若しくは保護を受けている者及びその付添人、療育手帳の交付を受けている者及びその介護人、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

ウ 1日乗車券

種類	運賃	乗車できる範囲	摘 要
1日乗車券	(区間指定①)	700円	電車・バスの指定区間
	(区間指定②)	900円	電車・バスの指定区間
	(県内版)	2,000円	電車の全区間及びバスの指定区間
市電1日乗車券	(市電全区間)	大人500円 小児250円	市電の全区間

※ 市内の観光・文化施設の割引特典付き

エ 定期旅客運賃

種 別	期 間	割 引 率	摘 要	
通 勤 定 期	1カ月	大人普通運賃を60倍したもののから40%割引	持参人式定期券は、当該通勤定期券を持参する者も使用できる	
大人通学定期 (中学生以上)	1カ月	大人普通運賃を60倍したもののから50%割引	端数売り1ヵ月定期券は、端数日数59日を限度として発売する 3ヵ月定期券は、端数日数29日を限度として発売する	
小児通学定期 (小学生)	1カ月	大人普通運賃を60倍したもののから75%割引		
割引定期	通勤	1カ月	通勤定期券の30%割引	身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護人、児童福祉法の規定による諸施設により養護若しくは保護を受けている者及びその付添人、療育手帳の交付を受けている者及びその介護人、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者に発売する
	通学	1カ月	大人通学定期券の50%割引	
夏休み子ども定期券	通用期間は、熊本市立小中学校の管理運営に関する規則（昭和59年教育委員会規則第6号）第3条第1項第4号に規定する夏季休業日（夏季休業日の前又は後に当該夏季休業日に連続して日曜日、土曜日又は国民の祝日に関する法律に規定する休日（以下「日曜日等」という。）がある場合は、当該日曜日等を含む。）とし、小学生以下の者に発売額1,000円で発行する。			

※ 各種別の3ヵ月定期は、1ヵ月定期運賃額を3倍したもののから5%割引

オ 貸切旅客運賃

大人運賃(円)	小児運賃(円)
12,000	6,000

(6) 超低床電車(LRV)の概要

型 式	9700型	0800型
営業開始	平成9年8月	平成21年4月
車両数	2車体連接車5編成	2車体連接車3編成(1編成)
車両製作	株式会社 新潟鐵工所 ADトランツ ボンバルディア トランスポートーション	新潟トランシス 株式会社
車 種	4輪ボギー連接電動客車	4輪ボギー連接電動客車
定 員	76人	82人(86人)
車 長	18,550mm	18,400mm(18,460mm)
車 幅	2,350mm	2,400mm
床高	通路	360mm
	出入口	300mm

※ 0800型()内は、平成26年10月に運行開始した0803号に関する内容

(7) カラー広告電車

種 別	規 格	広 告 料 金 (消費税は含まない)	摘 要
電車	車外	広告表示面積合計5.3㎡以内	1ヵ月1車 250,000円
			原則としてフィルムを用い、管理者が別に定める基準によるものを用いること

実 績

項目	年度				
	26	27	28	29	30
収 入(千円)	56,008	50,075	51,846	58,200	53,317

(注) 消費税相当分は除いて算出

3 経営状況（総務課）

（単位 円）

事 項		年 度	26	27	28	29	30
軌道事業	総 収 益		2,527,773,231	3,730,844,600	2,220,609,009	2,298,101,300	2,286,184,655
	乗車料収入		1,303,314,856	1,406,082,994	1,546,954,715	1,595,378,217	1,595,054,809
	その他収入		1,224,458,375	2,324,761,606	673,654,294	702,723,083	691,129,846
	総 費 用		2,121,818,259	2,319,377,542	2,009,372,644	2,040,348,896	2,719,285,264
	人件費		1,308,071,971	1,404,083,398	1,166,190,797	1,150,649,135	1,134,895,461
	減価償却費		337,492,346	359,036,236	373,937,675	395,628,865	387,316,641
	電力費		71,786,253	70,621,261	64,384,638	64,972,856	65,035,021
	支払利息		38,491,806	40,837,091	27,498,278	25,177,374	22,438,868
	修繕費		89,479,499	123,458,212	125,057,962	129,492,140	134,931,086
	その他		276,496,384	321,341,344	252,303,294	274,428,526	974,668,187
単 年 度 損 益		405,954,972	1,411,467,058	211,236,365	257,752,404	△ 433,100,609	
剰余金又は累積欠損金		△ 618,521,343	1,833,320,452	2,044,556,817	465,802,694	78,708,113	
自動車運送事業	総 収 益		997,442,946	—	—	—	—
	乗車料収入		413,889,805	—	—	—	—
	その他収入		583,553,141	—	—	—	—
	総 費 用		598,241,687	—	—	—	—
	人件費		480,091,779	—	—	—	—
	減価償却費		0	—	—	—	—
	燃料費		43,232,400	—	—	—	—
	支払利息		3,579,601	—	—	—	—
	修繕費		15,521,677	—	—	—	—
	その他		55,816,230	—	—	—	—
単 年 度 損 益		399,201,259	—	—	—	—	
剰余金又は累積欠損金		△ 55,233,790	—	—	—	—	
計	総 収 益		3,525,216,177	3,730,844,600	2,220,609,009	2,298,101,300	2,286,184,655
	乗車料収入		1,717,204,661	1,406,082,994	1,546,954,715	1,595,378,217	1,595,054,809
	その他収入		1,808,011,516	2,324,761,606	673,654,294	702,723,083	691,129,846
	総 費 用		2,720,059,946	2,319,377,542	2,009,372,644	2,040,348,896	2,719,285,264
	人件費		1,788,163,750	1,404,083,398	1,166,190,797	1,150,649,135	1,134,895,461
	減価償却費		337,492,346	359,036,236	373,937,675	395,628,865	387,316,641
	電力費・燃料費		115,018,653	70,621,261	64,384,638	64,972,856	65,035,021
	支払利息		42,071,407	40,837,091	27,498,278	25,177,374	22,438,868
	修繕費		105,001,176	123,458,212	125,057,962	129,492,140	134,931,086
	その他		332,312,614	321,341,344	252,303,294	274,428,526	974,668,187
単 年 度 損 益		805,156,231	1,411,467,058	211,236,365	257,752,404	△ 433,100,609	
剰余金又は累積欠損金		※△ 673,755,133	1,833,320,452	2,044,556,817	465,802,694	78,708,113	

（注）消費税相当分を除いて算出

（※）平成 26 年第 3 回定例会において、自動車運送事業廃止に伴い資本金の額の減少及び既に除却した固定資産に係る資本剰余金の処分を実施。 △ 673,755,133 円 + 1,042,416,808 円 + 53,191,719 円 = 421,853,394 円
（累積欠損金） （資本金減少額） （資本剰余金処分額） （繰越利益剰余金）

4 職員数（総務課）

（平成31年4月1日現在）

部門・性別 職種別	総務課			運行管理課			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
特別職	1名		1名				1名		1名
事務職	17名	1名	18名	3名		3名	20名	1名	21名
技術職	1名		1名	28名		28名	29名		29名
運転士				7名		7名	7名		7名
車掌									
その他				19名		19名	19名		19名
計	19名	1名	20名	57名		57名	76名	1名	77名

（注）再任用職員を除く（専従含む）

5 施設（総務課）

（平成31年4月1日現在）

施設	項目	敷地面積	建物面積	開設年月日	配車台数	施設内容
大江庁舎及び 電車営業所		2,892㎡	1,631㎡	大13.7.7	14両	事務所・電車営業所・電車車庫
上熊本車両工場及び 電車営業所		7,306㎡	2,904㎡	平14.10.14	40両	電車営業所・電車車庫・車両整備工場
上熊本詰所		2,405㎡	497㎡	平19.4.1	—	運行管理課詰所